

特別展「きのこのヒミツ」展 関連イベントと内覧会のお知らせ

大阪市立自然史博物館では、特別展「きのこのヒミツ ～きのこで世界はまわってる～」
《会期：平成 21 年 9 月 19 日(土)～11 月 3 日(火・祝)》の会期中の関連イベントとして、
講演会やセミナー、ワークショップ等を開催いたします。

また、「きのこのヒミツ」展、開幕前日の平成 21 年 9 月 18 日(金) 午前 11 時より、プ
レス内覧会を行いますので、取材をご希望の方は、別添ファイルのプレス内覧会取材申込
書を Fax にてお送りください。

読者・視聴者プレゼント用招待券申込および広報写真申込も受け付けていますので、併
せて、ご活用ください。

【開催概要】 詳細は「きのこのヒミツ」展ホームページへ

<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/tokuten/2009kinoko/index.html>

1. 名 称 第40回特別展「きのこのヒミツ～きのこで世界はまわってる～」
2. 会 期 2009年9月19日(土)～11月3日(火・祝) 39日間
3. 休 館 日 毎週月曜日(休日の場合翌日)
4. 開館時間 9:30～17:00(入場は16:30まで)
5. 会 場 大阪市立自然史博物館ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)
所在地:大阪市東住吉区长居公園 1-23
地下鉄御堂筋線「長居」駅下車、東へ約 800m
JR 阪和線「長居」駅下車、東へ約 1 km
6. 観 覧 料 大人 500 円 高校生・大学生 300 円。30 名以上団体割引あり。
※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方、大阪市内在住の65歳以上の方(要証明)
は無料。本館(常設展)入館料(大人300円、高大生200円)とのセット料金は、大人700
円、高大生400円。
7. 主 催 大阪市立自然史博物館、特定非営利活動法人 大阪自然史センター
8. 協 力 日本菌学会・日本土壌動物学会・関西菌類談話会・幼菌の会
9. 問 合 せ 大阪市立自然史博物館 TEL:06-6697-6221 <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>
10. そ の 他 記者内覧会は、9月18日(金)午前11時より開催します。

【主な展示物】

採れたてそのままの色と形を維持した凍結乾燥標本 400 点
アクリル系樹脂に封じ込めた、美しい樹脂包埋標本 100 点
大阪の粘菌相をほぼ網羅した変形菌標本 50 点
キノコの生態や土壌生態系を展示する大型模型など 10 点
本郷次雄氏・今関六也氏らが図鑑などに用いたキノコの彩色画 50 点
青木実氏・吉見昭一氏らアマチュア研究者の顕微鏡観察図 50 点
南方熊楠菌類図譜 10 点
毒きのこ・食用きのこ
菌類研究のてびき

【きのこのヒミツ展関連イベント】

■音楽と自然の広場

大阪市音楽団によるオープンエアーコンサートと学芸員のミニトークのコラボレーションです。
今年のテーマは「キノコ」です。音楽でイメージを広げて自然を感じましょう。

日時：9月19日（土） 13：30～14：45

会場：自然史博物館 ポーチ

解説トーク：きのこのヒミツ 佐久間大輔 学芸員

演奏：大阪市音楽団

■自然史オープンセミナー「きのこのヒミツをさぐる」

そもそもキノコは何者なのか、なぜキノコが世界を回しているというサブタイトルがついているのか、キノコの秘密についてお話しします。

日時：9月19日（土） 15：00～16：30

会場：自然史博物館 集会室

■自然史オープンセミナー「菌類の系統、硬いキノコを中心に」

専門家が少なく、キノコを専門にする人でも「難しい」というサルノコシカケの仲間。目の付け所はどこなのか、分類はどのように研究されているのか、第一線で研究されている服部さんの研究をご紹介します。

日時：10月17日（土） 15：00～16：30

会場：自然史博物館 集会室

■菌類生態学講座

菌類と他の生物との相互作用を詳しく学べる講座を企画です。生態系の中での菌類の役割を概観し、研究の frontline に触れることができる機会です。

主催：日本菌学会・大阪市立自然史博物館・大阪自然史センター

9月21日(月・祝) 菌類動物編

「アンモニア菌の世界」吹春俊光(千葉中央博物館)

「菌食動物とキノコの攻防」中森泰三(横浜国大)

「虫を分解する菌」出川洋介(筑波大)

9月22日(火・祝) 菌類植物編

「菌根を通してみた森林生態系」松田陽介(三重大)

「菌従属栄養植物とは」大和政秀(鳥取大)

「枯死木、菌類、菌食昆虫をめぐるダイナミクス」山下聡(京大)

日時：両日とも

午前10:30開演、16:00終了(予定)

会場：自然史博物館 集会室

お申込：msjseminar@mus-nh.city.osaka.jp

参加費：各日とも一般1000円、菌学会会員600円(高校生以下は300円引き)

ただし、特別展入場券がつきます

■特別展講演会 「キノコから見える生態系」

特別展に関連して、多くの人にキノコ研究の最前線を知ってもらおう講演会です。今回は活きのよい若手の菌学研究者お二方をお招きしました。キノコの分類はどうやって研究するのか、森林生態系の中でキノコは何をしているのか、サルはキノコを食べるのか、など知らなかったきのこの話がいろいろ見えてくるのではないかと思います。見えない地下をキノコからさぐって見ましょう。

佐藤博俊(森林総研) 「キノコと動植物との多様な相互作用-菌根共生とサルのキノコ食に着目して-」

折原貴道(鳥取大) 「地下生菌の知られざる世界-その生態と進化について-」

日時：9月23日(水・祝) 13:00~16:00

会場：自然史博物館 講堂

■子どもワークショップ「きのこのこ」

キノコには、キノコの子どもを空に飛ばすふしぎな仕掛けがあるんだ。きのこをみつめて、いろんなふしぎをみつめてみよう

日時：9月26日(土)、27日(日) 10月17日(土)、18日(日)

26日のみ13:30~ 15:30~ その他はいずれも11:00~ 13:30~ 15:30~

会場：自然史博物館 ネイチャーホール(特別展会場内)

■日本変形菌研究会 公開講演会

「変形菌とその仲間たち」

孢子から育つのはアメーバー。それが成長してやがてキノコを作るふしぎな生き物変形菌。かつて南方熊楠はこの仲間の生物が動物と植物のどちらに属するかとの議論の中で菌虫、と呼んでいたほどです。広く生物を見渡すと、変形菌のように、キノコなどの菌からも動物・植物からもはみ出してしまうふしぎな生き物たちがいます。そのふしぎさをご紹介します。

主催：日本変形菌研究会

日時：11月1日(日) 14:00~16:00

会場：自然史博物館 講堂

【展示標本画像】

クレジット表記要とあるものは、使用時はその表記を必須とします。



左から、トガリアミガサタケ（アミガサタケ科）、ムラサキカスリタケ（ベニタケ科）、シロテングタケ（テングタケ科）の凍結乾燥標本

マイナス 40 度に凍らせた後、真空下で乾燥させたフリーズドライの標本。水分が抜けて重さは元の 10 分の 1 から 20 分の 1 になっているが、形はほとんどそこなわれていない。



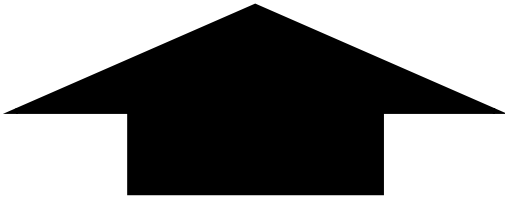
南方熊楠による標本とスケッチ・観察記録

南方熊楠菌誌（国立科学博物館 所蔵）

この標本は 1914 年に採集されたもの。熊楠自身は新種として公表したいと考えていたようだが、論文にされることはなく、標本と記録だけが残った。

1994 年に小林孝人氏が残された標本を再検討し、イギリス産のアセタケと同一種と判断し、新たに和名としてミナカタトマヤタケの名を与えた。

（クレジット表記要「画像提供：国立科学博物館」）



<FAX送信>

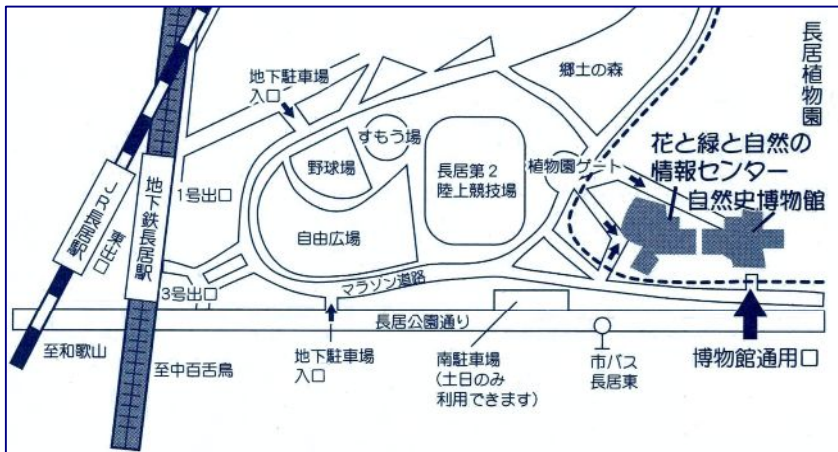
送信先：大阪市立自然史博物館
 管理課広報 宛
 TEL.06-6697-6221, FAX.06-6697-6225
 〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

特別展「きのこのヒミツ」展

プレス内覧会 取材申込書

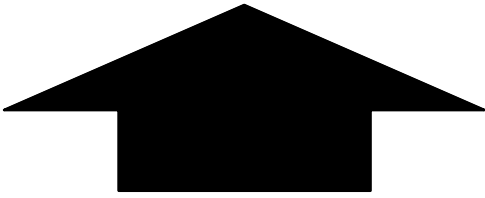
本展のプレス内覧会にお申込みされる方は、下記該当箇所をご記入の上、管理課広報宛にFAXにてご返信ください。またお手数ですが、掲載媒体を2部（DVD、ビデオ、カセット、MDなどは1本）、お送りくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



■プレス内覧会
 日時：9月18日(金)
 午前11時～
 会場：本館集会室

※ご取材にお越しの方は、
 博物館通用口から
 お入りください。
 駐車スペースもございます。

貴社名／媒体名	
所属部署／ご担当者名	
人数（カメラ含む）	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. _____ FAX. _____ e-mail. _____



<FAX送信>

FAX. 06-6697-6225

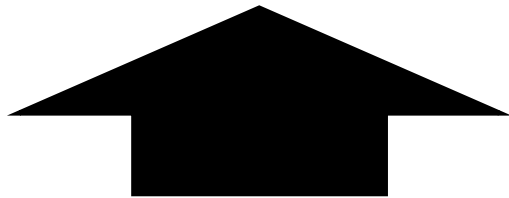
送信先：大阪市立自然史博物館内
管理課広報 宛
TEL.06-6697-6221, FAX.06-6697-6225
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

特別展「きのこのこのヒミツ」展

読者・視聴者プレゼント用 招待券申込書

貴媒体内での読者・視聴者プレゼントに限り、本展の招待券を10組20名様分、ご提供させていただきます。

貴社名	
媒体名	
発行部数	
掲載・放送予定日	
所属部署／ご担当者名	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. FAX. e-mail.



FAX. 06-6697-6225

<FAX送信>

送信先：大阪市立自然史博物館内
管理課広報 宛
TEL.06-6697-6221, FAX.06-6697-6225
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

特別展「きのこのヒミツ」展

広報写真申込書

本展覧会の広報用写真をご用意しております。ご希望の写真に○印をつけ、下記にご記入の上、ご返信ください。

- ・写真使用は本展のご紹介のみとさせていただきます。尚、本展終了後の使用は出来ませんのでご了承ください（掲載期間：平成21年11月3日まで）。写真の使用後は、データは破棄してください。
- ・掲載記事・番組内容については、基本情報確認のため、グラ刷り・原稿の段階で管理課広報宛までFAXまたはメールをお送りください。また、ご掲載いただいた場合は、お手数ですが、掲載媒体を1部（掲載紙・誌、DVD、ビデオ、カセット、MDなど）を管理課広報宛にお送り下さい。

1. キノコ三種《トガリアミガサタケ・ムラサキカスリタケ・シロテングタケ》



2. 南方熊楠



貴社名	
媒体名／発行部数	
掲載・放送予定日	
所属部署／ご担当者名	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. FAX. e-mail.